

健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画に関する行政の取組

資料 3

健康づくり計画に関する行政の取り組み

1 生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～

(1) 栄養と食生活

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	食生活を振り返り改善するための栄養指導、栄養相談を実施する。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等の意見を元に改善に取り組んだ。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課
			食生活を改善できるよう、マタニティ教室において自分の食生活の確認ができるように支援した。また、離乳食教室では相談で現状を把握し、食生活の改善を促した。	食生活を改善できるよう、マタニティ教室において自分の食生活の確認ができるようにする。また、離乳食教室では正しい知識を普及していく。	健康推進課
	2	栄養に関する正しい知識を普及する。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
			保育園と栄養士が連携し、給食内容の改善や食育指導を行った。		学校給食センター課
			栄養のバランスを考え、親子で一緒に調理できる事業を実施した。		生涯学習課
	3	朝食を取ることが難しい人には簡単な朝食の取り方を提案する。	妊婦の食生活を見直し、1日3食食べることの大切さを啓発する。また、個別相談時にも相手の状況を見つつ、正しい知識の普及に努めた。	マタニティ教室の参加者が増えるよう、内容等を見直し、正しい知識を持つ人を増やしていく。また、個別相談でも正しい知識の普及に努める。	健康推進課
			マタニティ教室で簡単に作れる1品料理の試食を提供し、バランスよく朝食がとれるよう促した。	継続して実施していく。	健康推進課
	4	妊娠期から母乳育児の指導、相談を実施する。	母子手帳交付時、マタニティ教室において母乳育児を推奨した。乳児健康診査、子育て相談では必要な方への助産師による個別相談を実施した。	マタニティ教室、乳児健康診査、子育て相談において相談を継続して実施し、必要な方への母乳相談、訪問も継続して実施していく。	健康推進課
	5	マタニティ教室や離乳食教室等で、望ましい食生活について啓発する。	妊婦の食生活を見直し、1日3食の大切さを啓発した。また、ソルセイブを用い、妊婦自身の塩分濃度の結果を確認し、減塩について啓発しようと思っていたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。その代わりに講話で啓発を行った。	マタニティ教室の参加者が増えるよう、内容等を見直し、正しい知識を持つ人と朝食を取る人を増やしていく。	健康推進課
6	食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発する。	栄養士による園児への指導を行い、また、給食だよりおよび献立表を生かして保護者に啓発をした。	継続して実施していく。	子育て支援課	
		給食だよりや献立表を活用し、保護者への啓発を行った。		学校給食センター課	
7	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は家庭で作った弁当を味わうこととし、食育の日として周知した。	継続して実施していく。	子育て支援課	
8	給食で、伝承行事食として、行事に合わせた食事やおやつを提供する。	保育園と連携して伝承行事等を取り入れた献立を提供した。	継続して実施していく。	子育て支援課	
				学校給食センター課	
9	保護者の給食への関心、興味を深めるため、給食試食会を実施する。	令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため試食会は行わなかったが、家庭で作れる保育園おすすめレシピや離乳食レシピを市公式ウェブサイトで紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課 子育て支援課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・ 乳児期	10	給食だよりの充実を図る。	給食だよりにQRコードを掲載し、保育園おすすめのレシピを閲覧できるようにした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	11	食育を推進する。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認し、保育園で野菜作りや行事等を実施した。 また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	継続して実施していく。	子育て支援課
	12	食生活改善推進員の活動を支援する。	保健事業（離乳食教室）協力への助言、食改主催事業への協力、保健事業協力金の交付等を行うことにより、食生活改善推進員の活動を支援した。	地域の健康づくりの食育活動を推進していくために、引き続き支援していく。	健康推進課
	13	保育園を訪問して、幼児に対して食に関する指導を行う。	栄養士が各園に訪問し、幼児に対してパネル等媒体を使用し、食に関する指導を行った。	実施予定	学校給食センター課
	14	保育園で栽培した作物を給食で使用する。	保育園で野菜作りを行い、給食に使用した。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課
児童期・ 思春期	15	食育を推進する。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけをした。 食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導やたよりなどで啓発した。また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	継続して実施していく。	学校教育課
			今年度、県から親子料理教室は委託されず。代わりに「Around30.40働き世代ヘルシークッキング」にて小学生以上の子どもの同伴可として親子で料理をする事業を計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
	16	小学生を対象とした農業体験等、栽培、収穫活動を実施する。	一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブの栽培活動を行った。また、生活科の授業の一環でミニトマト栽培を行った。	継続して実施していく。	学校教育課
	17	地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	親子パン作り教室で、親子でパンの作り方を学ぶ講座を開催した。	継続して実施していく。	人権推進課
			地域住民や親子で作り方を学びながら調理できる講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
			今年度、県から親子料理教室は委託されず。代わりに「Around30.40働き世代ヘルシークッキング」にて小学生以上の子どもの同伴可として親子で料理をする事業を計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
18	望ましい食習慣を身につけさせるよう、栄養教諭・学校栄養職員による指導を行う。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施した。	継続して実施していく。	学校教育課	
19	食生活改善推進員の活動を支援する。	保健事業（離乳食教室）協力への助言、食改主催事業への協力、保健事業協力金の交付等を行うことにより、食生活改善推進員の活動を支援した。	地域の健康づくりの食育活動を推進していくために、引き続き支援していく。	健康推進課	
青年期・ 壮年期	20	食に関する知識の普及や相談を実施する。	作り方を学びながら調理できる講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
			特定健診受診者へ健診結果と食事の関係を記載したリーフレットを配布し知識啓発に努めた。また、特定保健指導にて管理栄養士による相談および指導を実施した。	市の健康課題をふまえて、高血圧予防、脂質異常症予防、野菜摂取量増加に向けた栄養教室を実施していく。	保険医療課
			ヘルスアップ教室にて野菜摂取量促進の講話を行った。高血圧予防の教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。脂質異常症予防、野菜摂取量増加の教室は今後コロナの状況を踏まえつつ実施する予定。		健康推進課

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・壮年期	21	掲示板、公共施設等身近な場所で目にとまる啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あまのわ縮小、健康福祉まつり中止となった。広報に記載したり、食に関するパンフレットを窓口に設置した。	引き続きスマートライフプロジェクトの啓発を実施していく。あまのわ、健康福祉まつりでは、あま市の野菜摂取量の現状を踏まえ、引き続き野菜摂取量増加を促す啓発を実施していく。	健康推進課
	22	広報や市公式ウェブサイトで朝食を取るよう呼びかけるなど、食の大切さについて情報提供を行う。	広報12月号にて、野菜摂取量の現状値や目標量について啓発を行った。	令和3年度に1日に2回以上、主食・副菜を3つそろえて食べている人の割合が70%以上になるように、継続して啓発や情報発信を実施していく。	健康推進課
	23	食生活改善推進員の活動を支援する。	保健事業（離乳食教室）協力への助言、食改主催事業への協力、保健事業協力金の交付等を行うことにより、食生活改善推進員の活動を支援した。	継続して実施していくとともに活動を広報で紹介する。	健康推進課
	24	土日の料理教室を開催する。（特に男性向け）	「時短&おとう飯を作ろう」 開催日 令和3年2月27日 場所 美和公民館 講師 市管理栄養士 内容 夫婦、親子を対象とした料理教室 参加者 5組 10名夫婦が性別に捉わられることなく、家事を効率よく行う方法を学ぶために、料理教室を開催する。	継続して実施していく。	人権推進課
	25	民間企業等と連携して健康志向の手軽な食事を提案する。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を募集した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、生活習慣病予防に繋がる食事を提案する。	健康推進課
	26	健診結果をわかりやすく説明し、食生活の改善を支援する。	健診受診者へ健診結果の見方や値の持つ意味の説明及び食事の関係をまとめたリーフレットを配布した。 多職種からの指導により、色々な視点から生活習慣の見直しを行い、生活改善の支援をした。	多職種からの指導による生活習慣の見直しのため、継続して実施していく。	保険医療課 健康推進課
高齢期	27	高齢者を対象とした栄養教室を実施する。	なかよし昼食会（食生活改善事業）で、全員で会話しながら、食事を作り、食べる講座を開催した。	継続して実施していく。	人権推進課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。来年度実施予定。	「手軽にお惣菜をリメイクできる」と、参加者から好評につき引き続き実施していく。低栄養予防の簡単な食事づくりを啓発する。	健康推進課
	28	介護予防教室、栄養相談等で、バランスのとれた食事等の情報提供を行う。	栄養教室、栄養相談等で、バランスのよい食事の情報提供を行った。	低栄養を予防するため、継続して実施していく。	健康推進課
	29	低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	70歳以上の方を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	30	食生活改善推進員・活き生き推進隊の活動を支援する。	保健事業協力への助言、研修の企画、活動の場を提供するなど、食生活改善推進員・活き生き推進隊の活動を支援した。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課

(2) 身体活動と運動

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	31	妊娠期より、運動の必要性を啓発する。	マタニティ教室において、妊娠期における体操の必要性について伝える。	妊婦体操より出産後の育児（抱っこや沐浴体験等）の要望が多いため、マタニティ教室の内容を見直していく。	健康推進課
	32	親子で体を動かす事業を実施する。	七宝・甚目寺総合体育館で親子体操教室（スポーツ教室）を開催し、親子で体を動かす事業を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
			親子で体を動かすことを楽しむ事業を実施した。	内容を精査しながら実施予定	生涯学習課
33	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	令和2年度も継続して実施した。 児童遊園及びちびっ子広場は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。	都市計画課 子育て支援課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠 期・ 乳幼 児期	34	運動の大切さを啓発する。	健康推進課の事業（健康マイレージなど）を生涯学習講座参加者やトレーニング室利用者などに周知した。	健康への意識を高めるため継続して実施していく。	スポーツ課
			健康推進課の事業（健康マイレージなど）を周知した。 広報で運動の大切さについて啓発した。		健康推進課
	35	親子で楽しめる遊び場や機会、散歩コースの情報を提供する。	あま市子育てガイドブックを改訂し、配布を行い、あま市子育てカレンダーを月毎に作成している。	継続して実施していく。	子育て支援課
			こんにちは赤ちゃん訪問で児童館や支援センターについて周知した。		健康推進課
36	日頃から体を動かすことや適度な運動について情報提供をする。	乳幼児健診等でリーフレットを配布し、親子での遊びを啓発した。	遊びを通しての友達や家族との触れ合いや運動・感覚機能を養う大切さを継続して啓発する。	健康推進課	
児童 期・ 思春 期	37	遊びやレクリエーションの参加の機会を拡充する。	あまスポーツクラブ事業としてかけっこ教室やキッズ（ケイキ）フラダンスなどの講座を実施した。また、応援会員加盟クラブであるキッズクラブを通して、いろいろなスポーツを通じて仲間づくりを行ったり、豊かな子どもを育む講座を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	38	地域でのラジオ体操の普及に協力する。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためラジオ体操の集いを全て中止した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	39	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	児童遊園及びちびっ子広場は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
			都市公園はシルバー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努める。		都市計画課
	40	放課後に校庭等を開放する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開放休止期間を除き、放課後に校庭等を開放した。	継続して実施していく。	スポーツ課
放課後に校庭等を開放した。			学校教育課		
41	体を動かす楽しさを伝え、運動習慣の定着を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏休みスポーツ教室は中止し、甚目寺総合体育館で開催予定であった親子体操教室は規模及び期間を縮小し開催となったが、ふれあいスポーツ（子ども体育教室）で、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じ運動の日常化を図った。また、七宝総合体育館で後期親子体操教室（スポーツ教室）を開催し、親子で触れ合い体を動かす講座を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・ 壮年期	42	健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボクシングエクササイズ教室（スポーツ教室）及び市民走ろう・歩こう会は中止したが、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室を開催し、各種スポーツの基本的な運動を実施した。また、バランスボール・スポーツ吹き矢（あまスポーツクラブ事業）など、各種スポーツの教室を通じて健康増進を図った。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
			手軽に運動ができる事業を実施した。		生涯学習課
			七宝地区に加え4月から甚目寺・美和地区の開始予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月まで事業中止。10月から始めたが感染リスクもあり、積極的な勧奨が難しかったため、参加人数が少なかった。	運動不足になりがちな世代に自分に合った運動を見つけるための方法の1つとしてウォーキング事業と共にマップを推進していく。七宝地区と同様に美和・甚目寺地区では、理学療法士を中心に体操を始め、運動する機会を提供する。いきいき体操については対象者、目的を明確にしていき、教室として精査が必要。	健康推進課
	43	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室（託児付教室）を実施する。	託児付教室は現在実施していない。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、甚目寺総合体育館で「健康・体力づくり教室～総合体育館トレーニング室を利用しよう～」（スポーツ教室）で規模及び期間を縮小して開催し、トレーニング室の器具の使い方を習得し、運動の必要性や効果を実感し、トレーニングの継続を図った。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止による定員削減のため、ヘルスアップ教室の参加者は少なかったものの、子育て世代においては自分自身の体を知り、運動の必要性について学ぶよい教室となった。またこの教室参加を機に、自主グループとして活動している情報も得ることができた。		健康推進課
	44	運動に関する事業等について、市民にわかりやすく、魅力的な情報を提供する。	チラシ・広報誌掲載、筋力アップクラブ等の教室にて周知活動中。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月まで中止。健康福祉まつりは中止、ウォーキングあまのみ実施。	「ウォーキングあま」の参加者において、高齢者が多い。夏場（7月～9月）を避けて開催予定。いきいき推進隊とともに、市のウォーキング事業について今後考えていく。	健康推進課
45	健診結果をわかりやすく説明し、運動の必要性を伝える。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集団健診が中止。結果説明会における個別指導はできなかった。日常生活において継続的な運動の一つとして「あま体操」を考案した。	運動の必要性について指導するが継続実施が難しいケースが多いと感じる。運動を継続できるよう経過を追って支援する。	健康推進課	
46	市の運動施設について、利用者増加を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、甚目寺総合体育館で「健康・体力づくり教室～総合体育館トレーニング室を利用しよう～」（スポーツ教室）で規模及び期間を縮小して開催し、トレーニング室の器具の使い方を習得し、運動の必要性や効果を実感し、トレーニングの継続を図った。	継続して実施していく。	スポーツ課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・ 壮年期	47	民間企業と協力して、運動の推進を図る。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジに取り組み、職域への健康講座等で周知啓発を行う。またWチャレンジや健康宣言認定事業所をホームページにて掲載し、健康づくりを支援した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、運動を推進する。	健康推進課
	48	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いきいき体操、生き生き推進隊共に9月まで中止。10月から開始した。生き生き推進隊の体操グループにバイザーとして協力参加を始めた。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課
	49	市民のニーズに合わせた運動について検討、実施する。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ラジオ体操の集い及び市民歩け歩け会を全て中止した。	継続して実施していく。	スポーツ課
高齢期	50	介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。	転倒骨折予防事業で、体を動かす講座を開催した。（筋力アップ体操教室） 一般介護予防事業で、高齢者健康体操講座を開催した。（高齢者健康体操教室）	継続して実施していく。	人権推進課
			甚目寺総合体育館で、高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として「はつらつ健康教室～シニア運動教室～」(スポーツ教室)を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、シルバーカレッジ講座は中止した。9月からマスター講座を実施した。	継続して実施していく。	生涯学習課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月まで中止。10月からウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう(筋力アップ体操)、中国健康体操(意身功・太極拳)を実施した。		子育て支援課
			認知症サポーター養成講座・認知症予防講座を実施し認知症の理解と予防を図った。		高齢福祉課
			チラシ・広報誌掲載、生き生き推進隊やサロン等で紹介啓発中。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため高齢者に対して積極的に教室勧奨は難しいこともあり、公式ウェブサイトにていきいき体操の動画配信等実施した。		健康推進課
			51	高齢者の集まるイベントを活用して介護予防の啓発を行う。	チラシ・広報誌掲載、生き生き推進隊やサロン等で紹介啓発中。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため高齢者に対して積極的に教室勧奨は難しいこともあり、公式ウェブサイトにていきいき体操の動画配信等実施した。
52	介護予防事業を勧奨し、要介護状態を予防する。	70歳以上の方(要介護・要支援認定者は除く)を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課	
		11月に伊福サロンにて出前講座を実施した。 1月にもシルバー人材センターにて出前講座を実施する予定。 ロコモ予防について公式ウェブサイトにて掲載した。	チラシの内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課	
53	ロコモティブシンドロームについての知識を普及・啓発する。	生き生き推進隊は、4月から9月まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。10月から再開始した。体操グループにおいてもアドバイザーとして支援した。	健康寿命の延伸を図るために継続して実施していく。	健康推進課	

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
高齢期	54	地域の活動の場と、安全で取り組みやすい環境整備に努める。	体育館、グラウンド、テニスコート（スポーツ施設）の整備及び老朽化した備品等を修繕した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	55	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	生き生き推進隊は、4月から9月まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。10月から再開始した。体操グループにおいてもアドバイザーとして支援した。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課

(3) こころの健康づくり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	56	望ましい生活習慣をつくるための知識を普及・啓発する。	マタニティ教室、乳幼児健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや十分な休養の必要性や知識について啓発した。母親や家族から相談があった際は随時対応した。	啓発内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課
	57	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	子育てのストレス解消を図るため、乳児健診等で子育て支援センター、子育てコンシェルジュを紹介し、利用を促した。また、母親や家族から相談があった際は随時対応した。	必要に応じ、子育て支援センター、子育てコンシェルジュへつなげ、子育て支援の情報提供をするとともに、子育てのストレスの解消を図る。	健康推進課
	58	妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう、切れ目のない相談体制を充実させる。	母子手帳交付時、乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、マタニティ教室（一般編）において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へつながるよう支援した。	妊娠期の精神的不安、産後うつ子育てに関する知識や情報不足を防ぎ子育ての楽しみや喜びを感じられるように事業の中で継続して丁寧な面接・スクリーニング・コンシェルジュと定期的な検討会を継続して実施する。コーディネーターにより母が不安や悩みを抱え込まないように妊娠期から電話・訪問での相談を行う。	子育て支援課
			母子健康手帳交付時から不安を抱えたままの妊娠期を送らないように、相談先としてのコーディネーター、コンシェルジュを周知した。		健康推進課
	59	子どもの健やかなこころと体を育てるための知識を普及・啓発する。	乳幼児健康診査において、子どもの発達を支援するリーフレットを配布した。8～9か月児のもぐもぐ歯っぴい教室で保育士による親子あそびを実施した。	保育士による遊びを取り入れることで親子のコミュニケーションが広がり、子どもの健やかなこころの成長を促すため継続して実施する。	健康推進課
	60	母親が育児の不安や負担を抱え込まないよう、母親同士の交流を推進する。	育児中の親や閉じこもりがちな親に交流の場を提供し、親同士の交流を深めることを目的として、計画していた子育てサロンは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	継続して実施していく。	生涯学習課
			マタニティ教室、ふたごちゃんみつごちゃん交流会を開催し、母親同士の交流の場を設けた。	妊娠期や育児の不安を保健師と共有し1人で抱え込まないよう、引き続き実施していく。	健康推進課
61	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	母子手帳交付や産婦健康診査受診票（EPDS）にて精神疾患の既往の有無等を把握した。出産後の家庭訪問や面接の中で、相談機関を周知した。	妊娠期や育児の不安や病気の不安を1人で抱え込まないよう、マタニティ教室、訪問、健診の場等で必要に応じ相談機関を周知していく。	健康推進課	
児童期・思春期	62	こころの健康・休養について教育の充実を図る。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
	63	親子の絆を深める家庭環境づくりを支援する。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
児童期・ 思春期	64	質のよい睡眠や休養を取るための、正しい知識の普及・啓発を図る。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
	65	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	子ども・若者支援相談窓口を甚目寺公民館に開設し、あま市及び大治町に居住するひきこもりや不登校等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する概ね15歳から39歳までの子ども・若者及びその家族を対象に、事前の電話予約による相談業務を実施した。	ひきこもりや不登校等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する相談業務を効果的かつ円滑に実施する。	生涯学習課
			5、6月に「あま市教育相談」のお知らせを配布した。	継続して実施していく。	学校教育課
			小中各1校からSOSの出し方についての教育の取組状況について確認した。養護教諭部会において情報交換予定。	継続して実施していく。	健康推進課
青年期・ 壮年期	66	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	9月に名鉄甚目寺駅で自殺防止街頭啓発を実施した。	今後も自殺予防週間、自殺対策強化月間に、働く世代や学生をターゲットに通勤・通学時間帯に啓発を実施していく。	健康推進課
	67	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する。	ヘルスアップ教室や地域のサロンにおいて、睡眠の大切さについて講話を実施した。	うつ予防に努め、今後も睡眠の必要性について周知していく。	健康推進課
	68	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	運動不足になりがちな世代に、体を動かすことによりリフレッシュを図るきっかけを作り、自分なりのストレス解消法を見つける手助けとしてヘルスアップ教室を実施。	運動不足になりがちな世代に、体を動かすことによりリフレッシュを図るきっかけを作り、自分なりのストレス解消法を見つける手助けとして継続して実施していく。子育て世代が高齢化していることもあり、対象年齢の幅を広げていく。	健康推進課
	69	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	公認心理師によるこころの相談室について市公式ウェブサイトで掲載。他コロナ関連のこころの相談窓口についても掲載した。	相談件数が少ないため、市公式ウェブサイト掲載を通し周知していく。	健康推進課
	70	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	体を動かすことがストレス解消となることについて3月広報に掲載予定。	広報に掲載する。	健康推進課
	71	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	名鉄甚目寺駅で自殺防止街頭啓発を実施した。自殺相談連絡先の情報を普及啓発するため、リーフレットを作成し、成人式での配布を行う。「困ったときの相談窓口」一覧を、関係各課窓口に設置した。	自殺予防事業として継続して実施。	健康推進課
高齢期	72	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	高齢者総合相談窓口として実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	73	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する	継続して実施していく。	継続して実施していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
高齢期	74	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	介護者のつどい、ふれあい（認知症）カフェを実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月まで中国健康体操（意身功・太極拳）、お楽しみ会（脳トレなどのゲーム、お話し会）を中止。10月から実施した。	継続して実施していく。	子育て支援課
			ストレスを解消・リフレッシュするための支援として、はつらつクラブ、筋力アップクラブを継続して実施した。	ストレスを解消・リフレッシュするための支援として、継続して実施。	健康推進課
	75	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	こころの相談室の周知を継続して実施。令和2年度より精神科医による相談会を年3回設けた。	継続して実施していく。	健康推進課
	76	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行った。	継続して実施していく。	高齢福祉課
	77	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	「あま市成人式」においてリーフレットの配布を行い、自殺に関する正しい知識、相談窓口等の普及啓発を行った。高齢者が集う地域のサロンにおいて「こころの健康について」周知啓発した。民生委員による高齢者の実態把握で、単身高齢者に「こころの健康」に関するチラシの配布・相談先の周知啓発を実施した。	身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサイン等について、よりわかりやすく周知する。	健康推進課
	78	地域とのつながりが持てるよう支援する。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行う。老人クラブ活動の支援を実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
ひきこもり予防として、地域のサロンの紹介や高齢者健康事業の周知、参加勧奨に努めた。			ひきこもり予防として、地域のサロンの紹介や高齢者健康事業の周知、参加勧奨に努める。	健康推進課	
79	シルバーカレッジで生涯学習を行いながら仲間づくりの支援を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、シルバーカレッジ講座は中止した。9月からマスター講座を実施した。	継続して実施していく。	生涯学習課	

(5) たばこ

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	80	母子健康手帳交付時の喫煙状況を確認し、喫煙している妊婦とその家族に対し、個別に指導・支援する。	母子健康手帳交付時のアンケートより喫煙者への支援を実施した。喫煙者への追跡調査等喫煙率低下へ向けた支援を実施した。	母親の喫煙率の低下をめざし、母子手帳交付時に説明し、赤ちゃん訪問、乳児健診、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査において喫煙率の経過を追い、再喫煙の原因、その対処方法等を検証する。	健康推進課
	81	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく啓発する。	マタニティ教室でたばこの害（受動喫煙による害も含む）について説明した。	妊婦本人の喫煙のみではなく、受動喫煙の影響についても啓発する。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	82	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にたばこの副流煙の影響について知識を普及する。	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にリーフレットを配布し啓発に努めた。	継続して実施していく。	健康推進課
			年長児を対象として市内保育園（9園）にて喫煙が及ぼす健康への影響に対する知識を周知した。	新規事業として園にも好評であり、引き続き実施することで、知識普及の拡大となるため、市内保育園の年長児を対象に継続して実施していく。	健康推進課
	83	禁煙外来を周知する。	市公式ウェブサイト掲載や広報で禁煙外来について周知した。	継続して実施していく。	健康推進課
	84	公共施設での分煙・禁煙を推進する。	公共施設での敷地内禁煙実施継続した。受動喫煙防止ポスターを各施設に掲示した。	継続して実施していく。	健康推進課
児童期・思春期	85	学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
	86	目にする機会が多い場所へポスターなどを掲示し、啓発する。	愛知県教育委員会から配布されたポスターを各学校へ配布した。	継続して実施していく。	学校教育課
	87	子どもに対し、たばこの害を周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習。 中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	88	禁煙成功者の体験談を広報に掲載する。	市公式ウェブサイト掲載や5月広報で禁煙外来や禁煙相談について周知した。市職員に対し禁煙相談を行うことの情報提供を実施した。	令和3年度予定	健康推進課
	89	世界禁煙デーに合わせて禁煙週間を周知し、推進する。	市公式ウェブサイト掲載や5月広報で禁煙外来や禁煙相談について周知した。市職員に対し禁煙相談を行うことの情報提供を実施した。	継続して実施していく。	健康推進課
	90	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	公共施設、駅構内、駅ロータリーにおいて受動喫煙防止ポスターを掲示した。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示する。	健康推進課
	91	喫煙が及ぼす影響やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について周知する。	6月に市公式ウェブサイトにてCOPDについて掲載した。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発していく。	健康推進課
	92	禁煙希望者へ、禁煙治療ができる医療機関等の情報を提供する。	市公式ウェブサイト掲載や広報で禁煙の相談を行っていることを周知した。商工会を通じてポスターの掲示とリーフレットの配布を実施した。	市公式ウェブサイト掲載や広報で禁煙の相談を行っていることを周知する。	健康推進課
	93	たばこに関する講演会を実施する。	あま市薬剤師会代表へ情報収集実施した。	令和5年度を目途に講演会を実施していく。	健康推進課

(6) アルコール

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
乳妊 幼娠 児期・ 期	94	母子健康手帳交付時の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦とその家族に対し、個別に支援する。	母子手帳交付時に妊婦の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦にアルコールが妊婦・胎児に与える影響を、妊婦とその家族に資料を用いて説明した。また、妊婦やその家族の生活背景を捉えながら、飲酒をやめる方法について一緒に考えた。	妊娠中の飲酒率0%をめざし母子手帳発行時に母子手帳、パンフレットをもとにアルコールの影響について説明する。	健康推進課
	95	マタニティ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく周知する。	マタニティ教室一般編で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、助産師より周知した。	継続して実施していく。	健康推進課
児童 思春 期・ 期	96	未成年者に飲酒が及ぼす身体への影響について周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
壮青 高年 期・ 期	97	適正飲酒量を周知する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特定保健指導、健康福祉まつりが中止。引き続き1歳6か月児健診、成人式において適正飲酒量を周知した。また11月広報で掲載した。	内容を精査しながら実施していく。	健康推進課
	98	多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発をする。	11月広報でコロナ関連による飲酒量の増加のリスク、アルコール依存症について掲載した。	ストレスの発散が過度なアルコール摂取に向かないように心身に与える影響を中心に継続して周知していく。	健康推進課

(7) 健康管理

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	99	妊産婦・乳幼児健康診査の受診を勧奨する。	妊産婦・乳幼児健康診査受診券を活用して受診するよう勧奨した。集団の乳幼児健診の未受診者には、家庭訪問や面接にて早期に状況確認した。	マタニティ教室や赤ちゃん訪問で受診勧奨し、未受診者は100%把握する。受診状況を確認し、受診を中断している人には個別連絡をする。	健康推進課
	100	健康診査、相談、訪問指導など母子保健事業の効果的実施と利用促進を図る。	マタニティ教室や赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談で心身の発達の確認の必要性を周知し受診勧奨した。	継続して実施。未受診者には電話や訪問でフォローしていく。	健康推進課
	101	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	赤ちゃん訪問や乳幼児健診にて接種勧奨した。日本脳炎1期、2種混合、麻疹及び風しんワクチンの未接種者には個別で接種勧奨した。	乳幼児健診や未接種者ハガキにて接種勧奨し、接種率を上げる。	健康推進課
	102	かかりつけ医を持つよう啓発する。	乳幼児健診等がかかりつけ医を持つよう問診で啓発した。	継続して実施していく。	健康推進課
	103	妊娠期からの切れ目ない子育て支援を通して、健康管理を支援する。	母子健康手帳交付時から子育てに関する相談に対して、個別に支援計画を立て、継続支援を行った。	子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき切れ目ない支援を継続していく。	健康推進課
	104	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。	健診等で医療ネグレクト児が発見された場合は、同道で面接や訪問をし、関係機関と連携し指導を行う。	子育て支援課 健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
児童期・ 思春期	105	自分の健康を自分で守ることができるよう、適正体重を周知するなど、正しい知識を学ぶ機会を提供する。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応。 中学校：身体測定時にBMIをつかって適正体重を学ばせる。	継続して実施していく。	学校教育課
	106	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	日本脳炎、2種混合の未接種者には勧奨ハガキを送付予定。	未接種者にハガキにて接種勧奨し、2種混合は80%を上回る接種率を目指す。日本脳炎の接種率は良いが、接種を控えていた期間の者に対し継続して勧奨する。	健康推進課
	107	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。	健診等で医療ネグレクト児が発見された場合は、同道で面接や訪問をし、関係機関と連携し指導を行う。	子育て支援課
					学校教育課
108	がん予防を含む、生活習慣病の健康教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習。	継続して実施していく。	健康推進課	
青年期・ 壮年期・ 高齢期	109	健康教育、イベント、広報等を通じて、各種健（検）診の目的・重要性等をさらに市民へ周知する。	がん検診ガイドを5月に各戸配布し、広報掲載することにより受診勧奨に努めた。 コロナにより集団健診、健康福祉まつりが中止となり、コロナ感染拡大防止のため、昨年度よりも積極的な受診勧奨は難しかった。	前年度のがん発見率を数字で示し、継続してがん検診の必要性を啓発していく。	健康推進課
	110	がん検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。	20歳からの受診勧奨を継続して行った。1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発した。	20歳からの受診勧奨を継続して行う。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。	健康推進課
	111	個別通知を実施し、若い年齢層の受診者の増加を図る。	全てのがん検診対象者にごがん検診受診券を送付し、受診券を持参すれば直接、医療機関で受診できる環境を整えた。若い世代については、クーポン券付きのがん検診受診券とがん検診手帳を送付した。 乳がん・子宮がんクーポン検診未受診者への勧奨ハガキを送付した。1月広報においてもがん検診勧奨について掲載。	子宮頸がんクーポンの受診者が少ない。受診率向上に向けた対策が必要。 受診券の記載内容を精査し継続していく。	健康推進課
	112	早期発見・早期治療の重要性について、啓発する。	20歳からの受診勧奨を継続して行う。1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。 乳児健診対象の保護者にごがん検診啓発ティッシュを配布した。	子宮頸がんクーポンの受診者が少ない。受診率向上に向けた対策が必要。 20歳からの受診勧奨を継続して行う。1歳6か月児健診対象の保護者にごがん検診啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。	健康推進課
	113	望ましい生活習慣（栄養・運動）の実践を支援する。	栄養教諭が各学校へ出向き、生活習慣等についての指導を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特定健診結果説明会、健康福祉まつり、あまのわ等が中止となり、啓発の場が得られなかった。ヘルスアップ教室で望ましい生活習慣についての講話、運動を実践した。			適正体重は最も病気になりにくい体重であることを啓発し、生活習慣の改善にもつなげていく。	健康推進課	
114	精密検査対象者への受診勧奨を強化する。	各医療機関の報告から未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう令和3年2月に再通知し勧奨を予定している。	継続して実施していく。	健康推進課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・ 壮年期・ 高齢期	115	あま市民病院における、人間ドックを新たに実施するなど検診部門の充実と、がんの治療・相談体制を強化する。	あま市民病院において、人間ドックを新たに実施する予定はないが、「人間ドック学会に登録したことによる特定健診」「協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託を目指した体制整備」等は実施した。	体制整備に向け検討していく。	病院事業管理課
	116	がんに関する講演会を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あま市民病院まつりは中止となった。	あま市民病院まつりにおいて生活習慣病の啓発を継続して実施していく。	病院事業管理課
	117	がん予防を含む生活習慣病の健康教育を行う。	特定健診結果説明会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	継続して実施していく。	健康推進課
	118	適正体重を周知する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健康福祉まつりが中止になり市民に適正体重の啓発を行う機会が得られなかった。1月広報に適正体重について掲載した。	継続して実施し、今後は健康相談時やマイレージ参加者にも機会をとらえて啓発していく。	健康推進課
	119	生活習慣病予防のために20歳代、30歳代からの生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育、健（検）診の勧奨等に一層取り組む。	ヘルスアップ教室、3歳児健診において生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育を実施した。	ヘルスアップ教室参加者以外にも啓発していく。	健康推進課
	120	職域との積極的な連携を図り、健康教育及び健（検）診受診への啓発を充実させる。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジに取り組み、職域への健康講座等で周知啓発を行う。またWチャレンジや健康宣言認定事業所をホームページにて掲載し、健康づくりを支援した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジに取り組み、職域への健康講座等で周知啓発を行う。	健康推進課
	121	医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議により保健対策推進協議会を実施し情報発信を実施する予定。	継続して実施していく。	健康推進課
	122	特定健康診査やがん検診を受けやすい体制づくりに取り組む。	直接医療機関を受診できるよう受診券を個別通知した。	受診率や祝日健診の状況を確認し精査して実施していく。	保険医療課
			直接医療機関を受診できるよう受診券を個別通知した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集団健診を中止したが、今年度無料検診対象者に対しては、来年度受診できるような体制を整えた。		健康推進課
	123	特定健康診査やがん検診の未受診者の把握に努め、受診勧奨を強化する。	広報による受診勧奨の周知啓発に加え、今年度初めて対象となった40歳や、不定期受診者及び過去3年未受診者に対して、心理特性に応じた受診勧奨案内を個別送付した。	8月号広報で未受診勧奨の周知啓発を行う。	保険医療課
			乳・子宮がん検診クーポン対象の未受診者へ12月に受診につながるよう勧奨通知を送付した	再勧奨するものの受診率向上につながらない。	健康推進課
	124	生き生き推進隊の活動を支援する。	9月まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが10月から活動再開。自主的な活動となるため役員会の体制作り、活動の目的の明確化を行う等のグループ支援を実施した。	継続して活動の場の提供を支援する。	健康推進課
125	お薬手帳の利用を勧奨する。	国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布、及び、窓口に適正受診についてのリーフレットを設置し、お薬手帳の活用を啓発した。また、重複服薬者に対して、通知により、お薬手帳の活用について指導を実施した。	継続して実施していく。	保険医療課	

2 重症化予防

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
重症化予防	126	有所見者への対策としては、重症化につながる高血圧症及び糖尿病について、セミナーの開催や訪問による医療機関への受診勧奨を実施し、適切な治療につなげて、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の重症化予防を図る。	特定健診の結果、糖尿病に関する値（Hb A1c）が有所見判定値以上の方に糖尿病教室を開催した。また、「糖尿病」「糖尿病性腎症」「高血圧」に関する値が受診勧奨レベルで医療機関受診が確認できない方および受診中断者へ、医療機関受診勧奨通知及び訪問指導を実施した。	継続して実施していく。	保険医療課
	127	継続したがん検診の必要性について啓発して、ライフスタイルに合わせた受診しやすい体制づくりを進める。	全てのがん検診対象者に受診券を送付し、直接医療機関に受診できる体制を作った。	受診券をさらにわかりやすく検討していく。	健康推進課
	128	要精密検査者には、医療受診の勧奨に努めて、早期発見につなげる。	要精密検査者の精検受診状況を調査し、個別がん検診受診者には一時検診医療機関に未受診者リストを令和3年1月に提出を予定している。各医療機関の報告から未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう令和3年2月に再通知し勧奨を予定している。	継続して実施していく。	健康推進課

3 家族、世帯を踏まえた取組の推進

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
家族・世帯	129	家族・地域での交流を図り健康づくりに関心をもつ。	保育園での防煙教室を行うことで、家族が受動喫煙について話をつくるきっかけを作った。	教室等の内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課

歯と口腔保健計画に関する行政の取り組み

1 歯と口腔の健康づくり

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	歯と口腔の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口腔の衛生週間の際に庁舎、保健センターでのポスター掲示、広報での周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表を分かりやすい内容にし、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診の勧奨を行った。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や、理想的なおやつを自発的に選択できるようリーフレットの内容を改善し、母子歯科健診等で配布した。	紙芝居、写真付きリーフレット等を使用した分かりやすい内容で実施していく。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）でフロスの使用効果を啓発した。公立保育園の歯みがき教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、フロスの啓発リーフレットと、フロスを公立保育園児に配布した。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、もぐもぐ歯っぴい教室で啓発した。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児歯科健診時にリーフレットを配布した。	内容を精査してかかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	健診後、対象者に治療勧奨し、後日受診状況を確認した。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子手帳交付時、対象者に禁煙を促すリーフレットを配布し分かりやすく説明した。マタニティ教室（一般・歯科）で啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	各健診で個別で口腔習癖を持っている人に、改善するよう声掛けをし、支援した。	口腔習癖が改善されたか、次回の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態についての指導を実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	マタニティ教室で8020運動のリーフレットを配布し、8020を達成できる生活習慣について説明した。	8020達成のための生活習慣の改善方法を、リーフレットを使用し説明していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
児童期・ 思春期	12	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設け献立表や放送資料で紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	16	歯みがき指導を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室を開催した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	17	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。希望のあった小中学校での歯みがき指導で実施した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課
	20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
壮青年期・ 高齢期	22	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	広報にて歯周病と糖尿病などの全身疾患について掲載した。	対象者の年代に合った内容のパンフレットを用意する。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図る予定。	継続して実施していく。	健康推進課

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・壮年期・高齢期	25	口腔機能の向上を啓発する。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行った。民生委員より高齢者世帯へ、健口体操に関するリーフレットを配布した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	歯と口腔の健診は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。広報、ヘルスアップ教室にて定期健診の重要性を説いた周知した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	歯と口腔の健診は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。喫煙と歯周病に関するリーフレットを来所者に配布した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。9020・8020表彰を訪問形式で実施した。100歳以上の住民の方への訪問を実施し、10020表彰につなげる。	100歳以上の住民の方へ訪問を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
	29	介護予防（口腔機能の向上）を啓発する。（高齢期）	介護予防教室で実施する。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			正しい口腔ケアの仕方を学ぶことを目的としたシルバーカレッジ講座授業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
			民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した。はつらつクラブにおける歯科医師講話は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	啓發文書の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	相談対応時に情報提供を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	高齢福祉課	
31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。歯と口腔の健診やシルバーカレッジは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は中止だが、来年度に向けて調整中。	歯と口腔の健診や、シルバーカレッジ等でお薬手帳利用の重要性について啓発を行う。	健康推進課	

(2) 食育との関わり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
乳妊 幼娠 児期・	32	口から食べる準備や、食べる機能（特に咀嚼）と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行う。各健康診査等の個別相談において、個々の口腔の状況に合った指導を行う。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課
児 童 期・ 思 春 期・	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	ゆっくり食べることが、味覚の発達につながることを引き続き啓発していく。	健康推進課
青 年 期・ 壮 年 期・	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	特定保健指導、栄養相談の際に生活習慣チェック表を使用し、ゆっくりよくかんで食べているか確認をし、必要に応じて適切な食べ方を指導する。広報にて早食いと生活習慣病の関係について掲載する。	ゆっくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広報に掲載して広く啓発していく。	健康推進課
高 齢 期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	はつらつクラブでの講話、75歳以上の歯と口腔の健診は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。笑って元気スクールにおいて、口腔機能の維持向上についての講話と健口体操を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課

食育推進計画に関する行政の取り組み

1 食育推進の施策展開

(1) 食を通じて健康な体をつくる

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
食を通じて健康な体をつくる	1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践を啓発する。	母子事業や成人の栄養教室にて、バランスのとれた規則正しい食生活を啓発した。	引き続き、母子や成人、介護の栄養教室にて、バランスのとれた規則正しい食生活を啓発する。	健康推進課
	2	食に関する指導を充実させ、食育を推進する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導。		学校教育課
	3	給食だよりの充実を図る。	各家庭に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努めた。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	4	食育に関する地域の社会資源との連携を推進する。	あま市の農作物を多く給食で使用できるように、JA海部東と連携を図った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	5	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は家庭で作った弁当を味わうこととし、食育の日として周知した。	継続して実施していく。	子育て支援課
			毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、テーマに沿った献立を提供した。		学校給食センター課
	6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	食の安全・安心に関する内容などを掲載した食育だよりを各家庭に配付した。また、食に関する情報を掲載した食育メッセージを市内小中学校の教職員に配付した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
食生活改善推進員や住民に対して、食の安全・安心に関する知識を啓発した。			継続して実施していく。	健康推進課	
7	朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	母子事業や成人の栄養教室にて、朝食の重要性の啓発や野菜摂取量の増加促進を実施した。	引き続き、母子や成人、介護の栄養教室にて、朝食の重要性の啓発や野菜摂取量の増加促進を実施する。	健康推進課	
8	適正体重を周知する。	広報1月号で適正体重の啓発記事を掲載し周知を図った。	継続して実施していく。	健康推進課	

(2) 食を通じて豊かなこころを育む

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
食を通じて豊かなこころを育む	9	給食内容の充実を図る。	各校から給食に対する意見を聞き、給食内容の充実を図った。JA海部東と協同し、あま市産の野菜を給食で使用できるように連携を図った。世界の料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	10	給食を通して子どもの豊かなこころを育成する。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成につなげた。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深めた。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	11	食文化や郷土料理を継承する。	愛知県の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			あま市観光協会主催の海部地域の特産野菜を使用した「あまっこ井レシピコンテスト」に協力し、食文化や地産地消を啓発した。	継続してコンテストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
	12	子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	親子で作り方を学びながら調理できる講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
			今年度は県からの委託がなく、親子料理教室は開催しなかった。代わりに、12月12日に「働き世代ヘルシークッキング」を開催し親子で料理をする場を設ける予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
	13	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。学校給食センター見学・食に関する指導を実施する。また、園だより・給食だよりなどで情報を提供した。	継続して実施していく。	子育て支援課
			栄養士が各園に訪問し、幼児に対してパネル等媒体を使用し、食に関する指導を行った。また就学時検診の時に、生活習慣などについて話を行った。		学校給食センター課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高める。		学校教育課
	14	子どもが保護者や地域とともに食育を学べる機会を設ける。	今年度は県からの委託がなく、親子料理教室は開催しなかった。代わりに、12月に「働き世代ヘルシークッキング」を開催し親子で料理をする場を設ける予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。		学校給食センター課
			あま市観光協会主催の海部地域の特産野菜を使用した「あまっこ井レシピコンテスト」に協力し、食文化や地産地消を啓発した。		健康推進課

(3) 食を通じて環境に優しい暮らしを築く

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
食を通じて環境に優しい暮らしを築く	15	地産地消に関する情報を提供する。	あま市の農作物をより多く給食で使用できるようにJ Aと連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			あま市観光協会主催の海部地域の特産野菜を使用した「あまっこ井レシピコンテスト」に協力し、食文化や地産地消を啓発した。	継続してコンテストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
	16	食の情報が得られる講座等を開催する。	各小中学校で開催される保護者対象の給食試食会にて栄養教諭が食について講話を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
			成人栄養教室や、母子事業の栄養教室にて、食の情報を提供した。		健康推進課
	17	特産野菜・伝統野菜をPRする。	市公式ウェブサイトを紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜を広くPRした。 また、生産者と協力し、本庁舎1階ロビーに二ツ寺大根の種を配布し、地元野菜の歴史や育て方等、市民の関心を高めるよう取り組んだ。	継続して実施していく。	産業振興課
			給食でを使用した農作物を、給食だよりや放送資料等に記載し配布した。		学校給食センター課
	18	伝統野菜を継承する。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜を活用した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	19	給食において地元農産物を活用する。	愛知県内や海部地域の食品を優先して使用した。 J A海部東と連携を図り、あま市の農作物をより多く給食で使用できるようにした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	20	米飯給食を推進する。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	21	食べ物に感謝する食育を推進する。	収穫体験、農業体験の充実に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
保育園、学校の残食量を周知した。			子育て支援課		
保育園・学校で食の指導を実施した。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導を行った。			学校給食センター課		
22	食品廃棄物の減量に向けた取組の充実を図る。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話をし、食品廃棄物の減量に取り組んだ。学校給食だより「食品ロス」について掲載した。	継続して実施していく。	学校給食センター課	